

触媒学会会長候補者「経歴と会長としての抱負」

1) 候補者指名

山下 弘巳 (やました ひろみ)

2) 生年月日

1959年12月8日

3) 略歴

1982年 京都大学工学部石油化学科 卒業
1987年 京都大学大学院工学研究科石油化学専攻 博士後期課程修了
1987年 東北大学非水溶液化学研究所・助手
1992年 東北大学反応化学研究所・助手
1992年 大阪府立大学工学部応用化学科・助手
1995年 大阪府立大学工学部応用化学科・助教授
2004年 大阪大学大学院工学研究科マテリアル応用工学専攻・教授
2005年 大阪大学大学院工学研究科マテリアル生産科学専攻・教授 (現職)
この間、1998～1999年 カリフォルニア工科大学客員研究員
2005年～ 大阪大学太陽エネルギー化学研究センター・兼任教授
2010年 パリ大学 (ピエール・マリー・キュリー大学)・客員教授
2014年～ 京都大学触媒・電池元素戦略研究拠点・拠点教授



4) 所属・職位

大阪大学大学院工学研究科・教授

5) 専門分野

触媒科学、材料化学、光触媒、ナノ構造触媒

6) 受賞歴

1997年 触媒学会 奨励賞
1998年 石油学会 奨励賞
2005年 日本金属学会 功績賞
2009年 光化学協会 協会賞
2015年 触媒学会 学会賞 (学術部門)
2016年 錯体化学会 貢献賞

7) 会長としての抱負

多種多様な社会貢献をしている触媒を対象として、情報交換・交流の場を提供し、学術的技術的発展を促す重責が触媒学会にはあります。触媒研究開発の発展には、異分野との融合や連携に加え、境界領域の開拓は不可欠です。そのためには、触媒学会が展開している研究技術開発、一般向け啓発活動、若手研究者の育成、産官学・世代間の連携、各種研究会活動、国際交流活動などのより一層の活性化・特色化を図ると共に、内外に向けて今まで以上にわかりやすい情報発信を行う必要があります。討論会開催と学会誌・出版物発行などの従来通りの学会活動に加え、広報活動の戦略化と産官学若手研究者間交流の充実が近々の重要課題と考えます。国際交流においては、日韓・日台・日中 (環境) などの2国間シンポジウムを核として躍進するアジア各国との交流の充実化、40数年ぶりになる国際触媒会議(ICC)の日本誘致に向けての準備に取り組みたいと思います。